

留学報告書

アメリカ・ミネソタ州立大学マンケート校

学部学科・研究科専攻	工学部電気電子工学科		留学時学年	3年
留 学 先	国	アメリカ	大学/機関	ミネソタ州立大学/マンケート校
期 間	2025年02月16日 ~ 2025年03月09日			
	短期		計3週間	

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名（受講科目・複数可）

- ・授業時間数： 54 時間＋課外学習（金曜日）

課外学習では、オリエンテーション（食事会）、映画鑑賞（ハリーポッター）、ホッケー観戦、ボウリング大会、スノーシュービング、お別れ会（食事会）を行った。さらに空いた時間に、他学部の講義見学、偏見を題材とした講義を受講した。

- ・科 目 名： IEP Writing は月曜日、水曜日に設定され、1 回あたり 100 分の講義が計 6 回行われた。

IEP Reading and Vocabulary は火曜日、木曜日に設定され、1 回あたり 100 分の講義が計 6 回行われた。

IEP Special Topics は火曜日、木曜日に設定され、1 回あたり 100 分の講義が計 6 回行われた。

IEP Listening and Speaking は火曜日、木曜日に設定され、1 回あたり 100 分の講義が計 6 回行われた。

Language Partners は個人によってスケジュールは異なったが、私の講義は火曜日、木曜日に設定され、1 回あたり 100 分の講義が計 6 回行われた。毎回同じクラスメイトと受講した。

時 間	月	火	水	木	金	土	日
8 時～15 時	○	○		○		Free	Free
13 時～15 時			○			Free	Free
10 時～18 時					○	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

東海大生を含め、15 人程度の少人数クラスだった。日本以外では、ベトナムから 2 名・シリアから 1 名・韓国から 1 名・南アフリカから 1 名と一緒に受講していた。IEP Writing では、主にプロセスを英語で説明する方法について、配布された教科書に沿って説明が行われた。一般的な座学であった。

IEP Reading and Vocabulary では配布された教科書に沿って講義が行われ、長文読解のレッスンが多かった。また、常にグループワークだった。

IEP Listening and Speaking では、リスニングのレッスンとプレゼンテーションの課題、文法のレッスンを受けた。IEP Writing と同じ先生だったため、授業方法もほぼ同じだった。

上記の講義はすべて教科書およびスクリーンを使った対面講義であった。（プレゼンテーションの際はパソコンの持参が必須だった。）

使用教材：TOKAI UNIVERSUTY PROGRAM February 17-March 7,2025

Intensive English Program Course Materials

（色々な教材が組み合わされて印刷された手作りの教材を使用した）

IEP Special Topics では自分のあこがれのリーダーを決め、その内容について紹介する発表資料の作成に努めた。その過程でクラス全員が円になり、それぞれのあこがれのリーダー像について話す機会があり、面白かった。最後にプレゼンテーションを行った。講義では、配布資料（電子版と紙媒体）用いて行われた。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

金曜日は課外活動があり、最初の金曜日は映画鑑賞（ハリーポッター）だった。その後、近くのスキー場でスノーチュービングを行った。2 回目の課外活動では、校内にあるボウリング場でボウリング大会を行い、ミネソタ州立大学の男子ホッケーの観戦に行った。

余暇については、ホストファミリーとボードゲーム（UNO や人生ゲームなど）、テレビゲームやスポーツ（狩猟の銃体験、バスケットなど）などを行った。また、ミネアポリスのモール（モールオブアメリカ）へ買い物に行ったり、ホストハウス付近の散歩をしたり、モールオブアメリカにある遊園地でも遊んだ。さらには他のホームステイ先の方に誘いを受け、焚火も体験させていただいた。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。（図書館、学生会館、スポーツ施設等）

よく体育館（ジム）に行って、バスケットボールをしていた。周りの生徒がとても上手だったので参考にしながら練習した。体育館は、学生であれば利用は無料だった。また、ボールも学生証をかざすことで簡単に借りることができた。

ランチタイムは、ダイニングキッチンという食堂にもよく昼食を食べに行った。ダイニングキッチンはダイニングダラーという、あらかじめお金が入れている学生証をかざすと一回入場となり 10 ドル程度が自動で支払われるシステムだった。食堂は入場してから退場するまではバイキング形式で何回でもお代わりして食べることができた。

[5] 宿舍（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 1 人で使用

様子：ミネソタ州セントポールは、とても落ちついた雰囲気のある街であり、ホストファミリーの家や部屋もおしゃれだった。また、居室だけでなく、洗濯機やバスルームも自由に使わせてくれ、フェイスタオルやバスタオル、ドライヤーなどの用意もあり、とても快適だった。Wi-Fi も利用することもできた。

ハウスルールはなく、常識内のことであれば何も言われず、とても快適にすごさせてもらった。ホストファミリーの仕事や学校に向かう時間が朝 8 時前であったので毎日 7 時頃に起きて学校に向かっていた。ホストマザーの料理がとても美味しく、朝夜のごはんが毎日楽しみだった。ホストファミリーの子どもとボードゲームやテレビゲームをして遊ぶのも、とても楽しかった。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- **楽しかったこと**：留学中には、本プログラムの仲間と英語で何を言っているのかを聞き合い、授業で言っていた内容や聞かれた内容はどのような意味だったのだろうと話したり考えたりするのが楽しく、英語や語学に対する勉強法についての理解を深められた。ホストファミリーは過去に日本に滞在経験があり、日本語のスラングについての話や、日本にいたときの話をしてくれ、自分自身も故郷や家族について話をすることができた。また、ホッケー観戦にも初めて行くことができ、会場の迫力や選手のぶつかり合いに圧倒された。アメリカ最大のショッピングモール、モールオブアメリカでの買い物も楽しかった。日本にはないような室内遊園地や水族館に行くことができ、有意義な時間が過ごせた。日本では経験できない、銃の体験（狩猟用の）もできた。全体を通して非常に貴重な体験となった。
- **苦労したこと**：自分の言いたいことが複雑な場合（英語に変換するには簡単な単語では表現しきれない場合）、会話が止まるとグーグル翻訳を使わないと伝えられず、とても苦労した。途中までは聞き取れたが、途中でわからなくなってしまった時に返す言葉が見つからず困った。買い物をする際、支払い方法以外のことを聞かれた際に答えられなかったことも悔しさを感じた。カフェで呼び出すための名前を聞かれたが、日本では馴染みがないため、何を聞かれているのか分からなかった。仲間や先生との会話では、発音が悪いことやリスニング力がないことを強く認識した。自分から積極的に話しに行ったり質問しに行ったりするような積極性がないと周りに置いて行かれるため、苦労した。

[7] 留学の成果について教えてください

- 1) **語学力の向上**：学校での講義や日常的にも英語を話すように心がけていたが、帰国後は少しリーディングやリスニング力が向上しているように感じた。しかし、スピーキングにライティングに関しては翻訳ツールが必要な時もあり、十分に向上しているようには感じなかった。
- 2) **専門知識の向上**：工学系の講義はなかったので向上しているとは言えないが、英語でのプレゼンテーションは今後必要になっていくので、講義でたくさん練習をする機会を得られてよかった。英語でのプレゼンテーション能力はまだ向上してないと思うが、どんな感じなのかを知ることができてよかった。
- 3) **自己成長など**
価値観の違いや、立ち振る舞い、考え方などアメリカに住んでいる人と、自分自身を照らし合わせてみて、自分の長所や短所が少し理解できたように思う。言語の違いだけでこんなにも生活が不便になるのだと実感できたが、その不便さを払拭するために英語学習により熱が入った。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

語学力向上なら長期、経験を楽しむなら短期、どちらも希望するなら中期が良いと感じた。
また、自分から英語を話そうとしないと語学力は向上しないということがとてもよくわかった。結局は自分次第だと思う。ぜひ積極的に英語を話すように努力してください。応援しています！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額（当時の日本円）
渡航費（旅行会社に支払った経費）	75万
授業料以外の諸経費（教材費・課外活動・保険料等）	1万
私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）	3万
現地からの奨学金がある場合	0
お土産代や個人的な買い物	7万
その他（ ）	
留学に関する費用の総額	86万

